

## 暮らし・福祉の満足度向上

### ●おくやみコーナーの開設

身近な方が亡くなられた際のご遺族の負担を少しでも軽減することを目的に、市役所で必要となる各種手続きをワンストップで処理する専用窓口として、事前予約制による「おくやみコーナー」を、9月1日から市役所本館1階に開設しました。



市役所本館1階に開設した「おくやみコーナー」

## 移住定住・にぎわい創出の 魅力度向上

### ●地方創生テレワーク交付金の活用

本市では、昨年5月に開設したコワーキング・シェアオフィス「KID」において、テレワークの推進、都市部企業のサテライトオフィス進出促

進などの多様な働き方の環境整備などに取組んでおり、この度、対象事業費の2分の1が補助されることとなりました。

### ●日本遺産「藍のふるさと阿波」のストーリーブック

吉野川流域9市町で組織した、藍のふるさと阿波魅力発信協議会において、文化庁の文化芸術振興費補助金を活用し、藍のふるさと阿波に関する「日本遺産ストーリーブック」、「小学生用副読本」、「観光パンフレット」を作成しました。

### 成長する産業づくりの拡大

#### ●流域育成林整備事業

本市では、市有林の間伐を毎年度実施しており、計画的な森林整備や間伐材を活用した林業・木材産業の活性化に努めています。ウッドショックの影響で間伐材の受け入れ価格も上昇していることから、間伐の事業量を増やすことで、市の歳入確保にも努めていきます。

### 安心・安全なまちづくりの拡大

#### ●吉本東谷川浚渫工事

本市学地区を流れる、学島川支流の市管理河川「吉本東谷川」にある

「砂防堰堤」の堆積土砂浚渫工事は先般完了し、台風シーズン控え、地域住民の安心・安全な生活基盤の向上を図ることができたところであります。

今後内水氾濫軽減のため積極的に取り組んでいきます。

### 持続可能な地域づくりと 市役所の変革

#### ●住民票等コンビニ交付サービスの開始

本年11月26日から住民票などの各種証明書をコンビニエンスストアで取得することができるサービスを提供できる見込みとなりました。（本号10ページ参照）



### 決算認定

◆令和2年度吉野川市一般会計歳入歳出決算認定

◆令和2年度吉野川市国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険各特別会計歳入歳出決算認定

◆令和2年度吉野川市水道事業会計歳入歳出決算認定

◆令和2年度吉野川市下水道事業会計歳入歳出決算認定

計歳入歳出決算認定  
条例  
◆印鑑登録条例の一部を改正する条例について

印鑑登録証明書のコンビニ交付サービスに対応するため、交付手続きについて規定の整備を行うものとなります。

### 予算

#### ◆一般会計補正予算(第5号)

歳入・歳出それぞれ1億5136万5千円を追加し、補正後の予算総額を、199億2651万2千円とするものです。

◆国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

◆介護保険特別会計補正予算(第1号)

◆下水道事業会計補正予算(第1号)計画の策定

◆吉野川市過疎地域持続的発展計画の策定について

令和3年3月末に失効した過疎地域自立促進特別措置法に代わり、4月から新たに過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行されたことに伴い、新法に基づく市町村計画として当該計画を策定するものです。

# 令和2年度 決算

令和2年度の吉野川市の決算が、9月市議会定例会で認定されました。一般会計および特別会計の収支は、すべて黒字となり、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率と資金不足比率は、すべて基準以下となりました。

ここでは普通会計(※)という区分を用いて決算の概要を説明していきます。

※普通会計とは、地方公共団体の財政状況を統一的に把握し、財政比較するために使われる会計区分のことです。

### 普通会計 決算概要等

令和2年度普通会計の決算額は、歳入総額261億633万51千円、歳出総額252億4189万7千円となり、令和3年度への繰越事業に充てる2億656万75千円を差し引き、実質収支は6億5594万3千円の黒字となりました。

令和2年度決算により、普通会計の市の預貯金にあたる基金残高は、1741万3千円増の100億9984万7千円に、市の借金にあたる市債残高は、8億8378万2千円減の257億478万5千円になりました。

### 普通会計 歳入

市に入ってくるお金は、大きく「自主財源」と「依存財源」に分けることができます。自主財源は、市が自主的に収入できる財源のことで、市税、使用料、手数料、財産収入、基金からの繰入金などが該当します。これに対し、依存財源は、国や県の意思によって定められた額が交付される財源のことで、国・県支出金、

地方交付税のほか、市債などが該当します。

#### ○自主財源

自主財源は、前年度と比較して、普通建設事業費が減少したことなどに伴い、不足する一般財源を補填するための基金の繰入金が増えたことなどにより、自主財源全体では16億1054万円の減となりました。

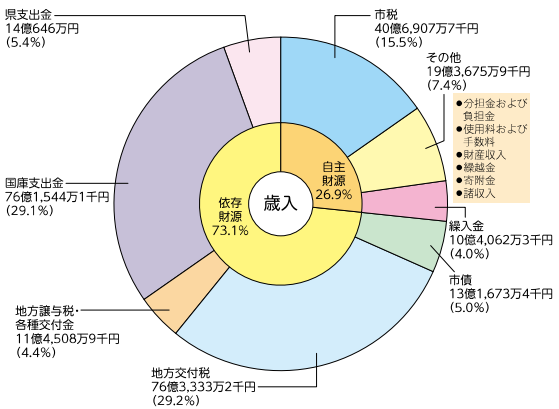
自主財源の歳入総額に対する

割合は26.9%(前年度比6.1ポイント減)となっています。

#### ○依存財源

依存財源は、特別定額給付金事業の実施などにより国庫支出金が44億6813万円増加したこと、令和元年度の消費税の増税が影響し、地方消費税交付金が1億5107万6千円増加したことなどにより、依存財源全体では、15億

歳入 261億6,331万5千円



### 家計簿にたとえると

市の財政状況をより分かりやすくお伝えするため、令和2年度の普通会計決算を家計簿にたとえてみました。ここでは、令和2年度普通会計決算額を約1/10,000にして計算しています。

収入			支出				
区	分	金額(円)	構成比(%)	区	分	金額(円)	構成比(%)
自主	給料	407,000	15.5	生活費	595,000	23.5	人件費、物件費
	パート収入	29,000	1.1	ローン返済	232,000	9.2	公債費
	雑収入	47,000	1.8	家の増改築など	188,000	7.4	投資的経費
	資産の売却払いなど	17,000	0.6	家や車の維持修繕	6,000	0.3	維持補修費
	前年からの繰越金	101,000	3.9	子どもへの仕送り	219,000	8.7	繰入金
	預金の取り崩しなど	104,000	4.0	自治会費、加入組合費など	717,000	28.4	補助費等
	親からの仕送り	1,779,000	68.1	医療・介護・教育費	444,000	17.6	扶助費
	銀行からの借入	132,000	5.0	雑支出	18,000	0.7	投資および出資金、貸付金
	合計	2,616,000	100.0	定借金	105,000	4.2	繰入金
	合計			合計	2,524,000	100.0	

3592万1千円の増となりました。依存財源の歳入総額に対する割合は73.1%(前年度比6.1ポイント増)となっています。